

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-01-03-07
事務事業名	環境整備事業		
		根拠法令・要綱等	強い水産業づくり交付金実施要項(国)
事業開始年度	平成17年度～		
大項目 基本目標	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	問合せ先	日生総合支所 管理課
中項目 基本施策	豊かな食を支えるまちづくり	職・氏名	課長補佐・濱山 一泰
小項目 施策	水産業	電話	0869-72-1259

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	市内の漁業者・遊漁者等
目的 (何のために)	瀬戸内海漁業の再生を目指し、県が事業主体となり日生町鹿久居島周辺海域において、消波施設の設置による静穏域の創出や覆砂等による底質改善など漁場の生育に適した環境整備を行っている「東備地区広域漁場整備事業」の完成後、海洋牧場へと展開する。
行政活動 (どのような方法で)	環境整備に向けて、県や地元漁業協同組合等関係機関と協議する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	音響給餌施設や海釣り公園等を整備した、海洋牧場へと展開する。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	県等との協議		回	5	12	12
	直接事業費		千円			
	人件費			631	812	150
	事業費計			631	812	150
	国・県支出金		千円			
	受益者負担					
	一般財源			631	812	150
	必要人員		人	0.07	0.09	0.02
	結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績
結果指標量		回	5	12	12	
対前年比		%	-	240.0%	100.0%	
活動コスト		円	631,000	812,000	150,000	
単位当たりコスト		円	126,200	67,666	12,500	

事業の成果			
成果指標名	現段階では協議及び要望件数	式又は説明	国・県等への要望
成果指標量	17年度 5	18年度 12	19年度 12
対前年比		240.0%	100.0%
到達目標値	事業決定	到達目標年度	平成27年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	C
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	事業採択されれば、水産業だけでなく観光も視野に入れた環境の整備を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
妥当性の評価	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	<input type="checkbox"/> 事業の意図する成果		
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	課題認識	
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	県・地元漁業協同組合等関係機関と連絡調整している。なお、業務量の実測により人件費が減少している。	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が当たらない		
職	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている	課題認識	
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	岡山県東部海域における有用魚種の資源供給基地を目指す。	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している			
<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			
<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成20年度の状況		説明	国・県等への要望
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 12	結果指標量	15
成果指標量		成果指標量	15

総合評価		評価区分 <A-E>	C
水産業だけでなく観光も視野に入れた環境の整備を行い、水産業を観光の両面を持つ海洋牧場を計画する。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果